

電波時計

(メロディ報時付掛時計)

取扱説明書

〇〇〇 特 長 〇〇〇

★これは便利!自動で時刻合わせ

標準時刻の電波を受信して毎日時刻合わせを自動的に行います。

★毎正時にメロディとからくりパフォーマンス

正時にメロディとともに文字板が回転しながら開閉します。

★電池の交換時期お知らせ機能

電池の残量が少なくなると、電池ランプが点滅して電池の交換時期をお知らせします。

目 次

1. ご使用上の注意	P.2
2. お手入れについて	P.3
3. 電波時計について	P.3
4. ご使用方法	P.4
5. 電波受信の流れ(受信表示ランプの見方)	P.5
6. 時計の掛け方	P.5
7. 報時機能	P.6
8. 電波を受信できない場合	P.6
9. 電波受信機能のON/OFF操作	P.7
10. 電池交換時期のお知らせ機能	P.7
11. 明暗センサー	P.7
12. おもな製品仕様	P.7
アフターサービスについて	裏表紙
お問い合わせ先	裏表紙

お買い上げいただきありがとうございました。

●ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご愛用くださいますようにお願い申し上げます。

●この取扱説明書はお手元に保管して必要に応じてご覧ください。

1. ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

禁止



この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

警告



この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

強制



この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

注意

誤飲による事故防止について



小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

警告

アルカリ電池について



●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。

警告

●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

●+ (プラス)、- (マイナス) を逆に入れないでください。

●指定された電池を使用してください。

●新しい電池と古い電池の混用や種類の異なる電池の混用をしないでください。

●使い切った電池は速やかに取り出してください。

●長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。

●電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。

●電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。



注意



分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

分解禁止



時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

注意

ご使用場所の注意

下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

●温度が+ 50℃ (50 度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。

●温度が- 10℃ (氷点下 10 度) 以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)

●浴室など、湿気の多い所。

●ほこりが多く発生する場所。(空気中のちりなどが機械部にたまって、時計が止まる可能性があります。)

●テレビ・OA 機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる可能性があります。)

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●温泉場など、ガスの発生する所。

●多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)

●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

2. お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けて使用していると、静電気により壁面や時計が汚れることがあります。定期的に掃除をしてください。

3. 電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

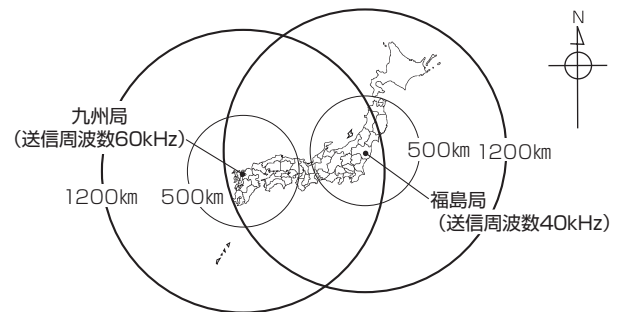
標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jyy.nict.go.jp)



受信可能な範囲

送信所からおおよそ1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

■ 標準電波の送信が止まる場合があります

送信所の定期点検や落雷などにより送信が停止することがあります。詳しい情報は、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

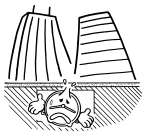
■ 海外でのご使用について

この時計は日本以外の国で送信されている標準電波を受信することができません。

海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して日本の標準時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので電波受信機能を停止させてお使いください。

電波を受信しにくい環境について

つぎのような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ



電化製品やOA機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



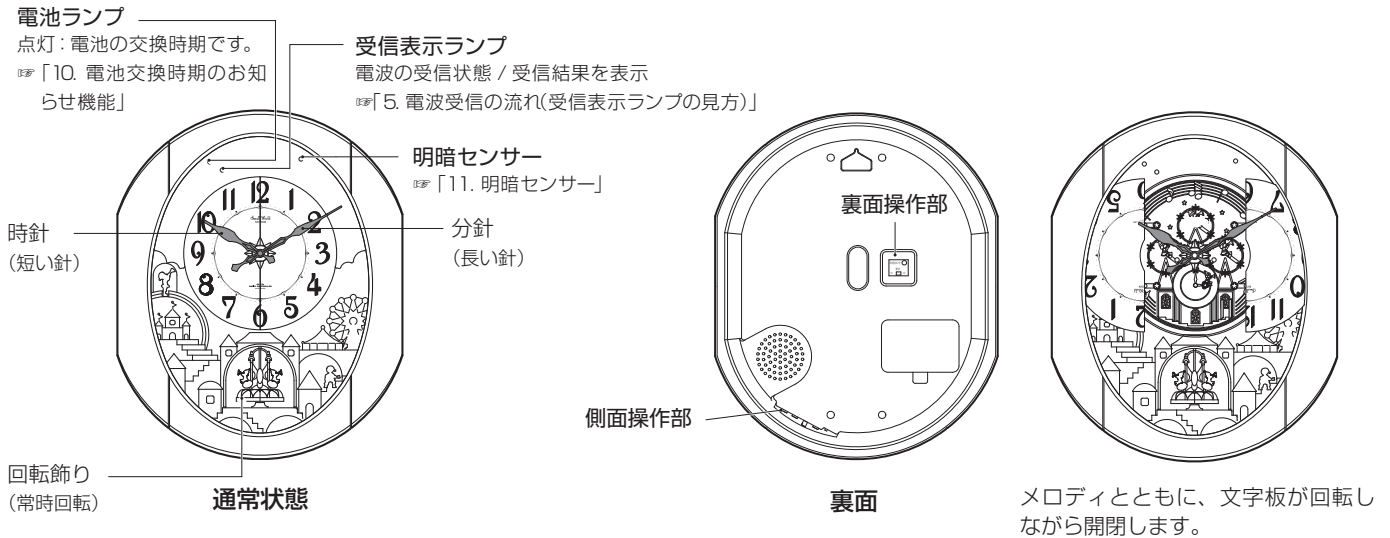
高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



朝夕の時間帯、雨天のとき

4. ご使用方法

図は操作説明用ですので、商品と異なることがあります。



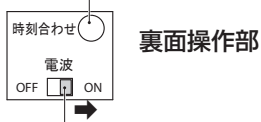
〈電池の入れ方〉③④⑥

電池ふた

単1形アルカリ乾電池を2個入れる

時刻合わせボタン

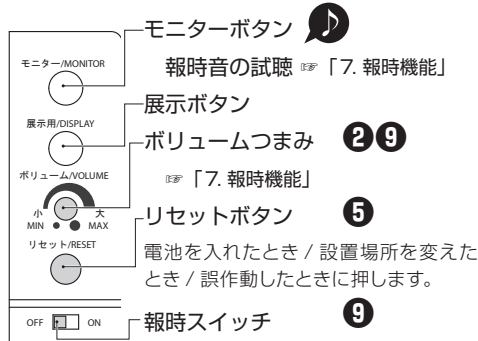
☞「8. 電波を受信できない場合」



電波受信スイッチ ①

ON: 受信する OFF: 受信しない

☞「9. 電波受信機能のON/OFF操作」



側面操作部

ON: 毎正時に報時 OFF: 鳴らない

☞「7. 報時機能」

展示ボタンについて

展示ボタンを押すと、文字板が開いた状態になります。閉じた状態に戻すには、再度、展示ボタンを押します。

※開いた状態でも毎正時に鳴りますが、電池の消耗を早めます。

※輸送時は文字板が閉じた状態にしてください。

標準電波を受信しないで、手動で時刻を合わせるときは、「8. 電波を受信できない場合」の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。

① 電波受信スイッチをONにする

② 音量を小さくする

急に音が鳴ることがありますので、ボリュームつまみを左に回して音量を小さくしてください。

③ 電池ふたを取り外す

④ 電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単1形アルカリ乾電池を入れます。逆向きに入れると電池の発熱、破裂、液もれの原因となります。

※電池を交換するときは、必ず、すべて指定の新しい電池をご使用ください。

⑤ リセットボタンを押す

受信表示ランプが点灯します。このとき針は止まったままですが、故障ではありません。リセットボタンを押した後は、受信が終わるまで他のボタンを操作しないでください。☞「5. 電波受信の流れ(受信表示ランプの見方)」参照。

○電池を入れた後は誤作動を防止するため必ずリセットボタンを押してください。

○リセットボタンを押すと、文字板が開閉することがあります。また、文字板が開いている場合は閉じます。

⑥ 電池ふたを取り付ける

⑦ 時計を掛けて受信が終了するまで待つ

「6. 時計の掛け方」をお読みの上、確実に時計を掛けてください。

受信には最長で15分程度必要です。受信が終わると針が早送りで動き、時刻を示します。

⑧ 受信結果を確認する

受信表示ランプを確認してください。

受信成功: 2秒に1回点滅→そのままご使用ください。

受信失敗: 消灯→「8. 電波を受信できない場合」参照。

●受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。

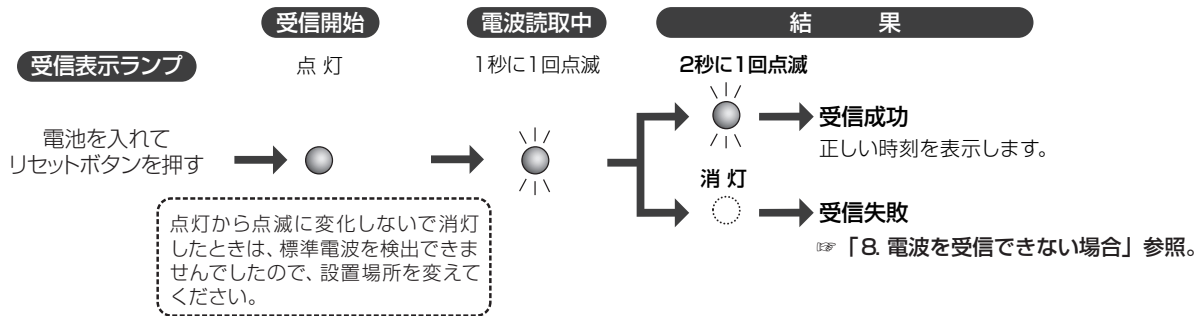
●受信に成功しているのに、時刻が正しくない場合は、ノイズの影響と思われるので、場所を変えてからリセットボタンを押してください。

⑨ 報時を設定する

必要に応じて報時スイッチおよび音量を設定してください。

☞「7. 報時機能」参照。

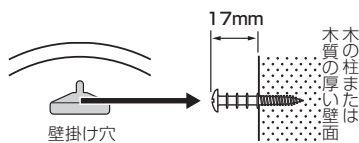
5. 電波受信の流れ（受信表示ランプの見方）



6. 時計の掛け方



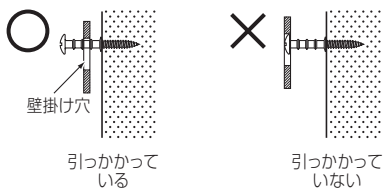
時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。時計を掛ける面に適した壁掛け金具、ねじを選択してください。また、時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。



(形状は商品により異なることがあります)

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは左図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

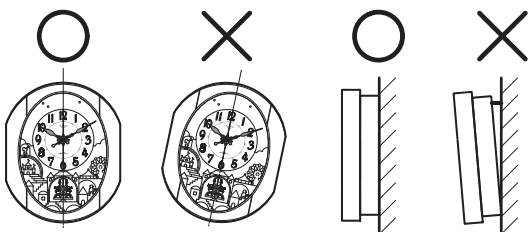


その他の壁面の場合

上記以外の場所（石こうボード、コンクリートなどの壁面）に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

時計を垂直に掛けてください

傾いて掛けると回転飾りの動きが乱れたり、止まることがあります。



電池からの液もれに注意

電池は早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や壁面などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

- 時計が止まったり、報時が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。



7. 報時機能

12種類のメロディが収録され、毎正時に1曲奏でます。メロディとともに文字板が回転しながら開閉します。


※曲目は時計裏面に表示してあります。

※時刻とメロディの曲目は固定されていません。

※時刻合わせボタンを操作して、正時にしても鳴りません。メロディや動きを確認するときにはモニターボタンを押してください。

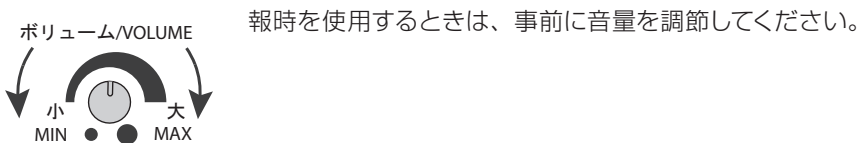
報時スイッチの設定

毎正時に報時する場合は、報時スイッチを ON にしてください。

OFF  ON 明暗センサーにより、暗くなると自動的に報時しくなります。
鳴らない 鳴る

報時音量の調節

モニターボタンを押してメロディが鳴っている間に、ボリュームつまみを回して音量を調節します。



報時音の試聴

モニターボタンを押すと、時刻に関係なくメロディを試聴することができます。また同時に文字板の動きが確認できます。

○メロディが鳴っているときに、モニターボタンを押すと、曲目が切り替わります。

○つぎの正時には、モニターで最後に奏でた曲の次の曲が設定されます。

○電波受信中は、受信しやすくするためモニターボタンを押さないでください。

8. 電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。1～2日後に受信結果を確認してください。

●場所を変える

電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所（取扱説明書の日本地図を参考）に、なるべく時計の正面または裏面が向くような所を選び、リセットボタンを押してください。設置場所を決める前に、「3. 電波時計について」をお読みください。

●手動で時刻を合わせる

「手動での時刻の合わせ方」に従い、時刻を合わせをすることができます。この場合の時間精度はクォーツ精度になります。電波受信スイッチが ON のときは、手動で時刻合わせをしても定期的に標準電波の受信を試みているので、受信に成功すると時刻が修正されます。

手動での時刻の合わせ方

時刻合わせボタンを操作して、任意の時刻に合わせることができます。この場合、時計の時間精度はクォーツ精度になります。

●ボタンを操作していないのに針が、早送り・停止している場合は、通常の動きになるのを待ってから操作してください。

●手動で時刻合わせをしても、受信に成功すると時刻は自動的に日本標準時に修正されます。

時刻合わせボタンの操作

時刻合わせボタンを押すと、時針・分針が動き始めます。

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けたときは、早送りで進みます。

9. 電波受信機能の ON/OFF 操作

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度となります。

電波受信スイッチ ON：標準電波を受信する。 OFF：受信しない。

※受信に成功した状態でOFFにすると 24 時間以内は受信表示ランプが点滅することがあります。

※OFFのときに電池を入れたり、リセットボタンを押すと、受信表示ランプが約3分点灯後消灯してから針が動き出します。

10. 電池交換時期のお知らせ機能

電池の電圧が低下し、電池の交換時期になると電池ランプが赤く点滅します。このような状態になりましたら、すべて指定の新しい電池に交換してください。そのまま放置した場合、時間違いや誤作動の原因になります。また、電池からの液もれにより、時計の故障、壁や家具などに損害が発生することがありますので、お早めに交換してください。

※この間も、時針・分針は正常に動いています。

※電池寿命が残り約1ヵ月のときからこの機能が動き出します。この期間はご使用状態により前後することがあります。

11. 明暗センサー

時計周囲の明るさを感知する明暗センサーにより、暗くなると報時や受信表示ランプの点滅を停止させます。

このセンサーは、時計を設置した場所の明るさで働くため、昼間や夜間照明時でも設置場所の光量不足により、センサーが働くことがあります。

12. おもな製品仕様

電波の自動受信回数は、受信状況により回数が異なります。

条 件	受信回数
受信成功から72時間以内	最少 1回/日 最多 3回/日
連続72時間以上受信に失敗	12回/日 (2時間間隔)
始めから受信に失敗	
手動で時刻合わせをした	

時 間 精 度	標準電波の受信に成功している場合 (受信直後) 表示精度 時針・分針 目盛りに対して3度 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20秒 (常温中のクォーツ精度)
報 時 精 度	表示時刻に対して±1秒以内
使 用 温 度 範 囲	-10~+50℃
使 用 電 池	単1形アルカリ乾電池 (JIS規格 LR20) 2個
電 池 寿 命	約1年 報時を1日17回 音量最大で鳴らした場合
そ の 他	電波機能 電波受信確認用ランプ (LED)、電波受信 ON/OFF スイッチ 報時機能 報時 (電子メロディ)・音量調節・メロディモニター 明暗センサー：報時の自動停止、受信表示ランプの自動消灯 展示モード：文字板面を開いた状態にする 電池交換時期お知らせ機能：赤色LED点灯 回転飾り

※付属の電池は、工場出荷するときに入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※電池の寿命は、電波の受信に成功して、1日7時間、報時が明暗センサーにより停止しているときのものです。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。

（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お問い合わせについて

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お買い上げの製品に関するお問い合わせにつきましては、製品の裏面などに表示してあります製品番号（型番）をご確認のうえ、お問い合わせください。（例．4 MN〇〇〇）

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-557-005

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>